



タブレットを使った現地調査の事例について紹介します。

(1/2)

今回紹介する団体: 水土里ネット山口

取組概要

内容: 多面的機能支払交付金における活動組織協定エリア内の農地および施設の維持管理状況を把握するため、タブレット用ソフトウェア「水土里egg」を使用してモデル的に現地確認作業を行った。

経緯: 従来の現地調査手順としては、印刷した地番図を持って現地踏査を行い、調査内容を手書きで記録し、デジカメで写真を撮影していた。今回は調査範囲も広く、エリア内全ての農地と施設を調査することを想定して、作業の効率化を検討し、タブレットを利用することとした。

①水土里情報の地番図に調査対象農地・施設を着色



データ転送



②GPSによる位置確認



③管理状況入力、写真撮影



データ転送



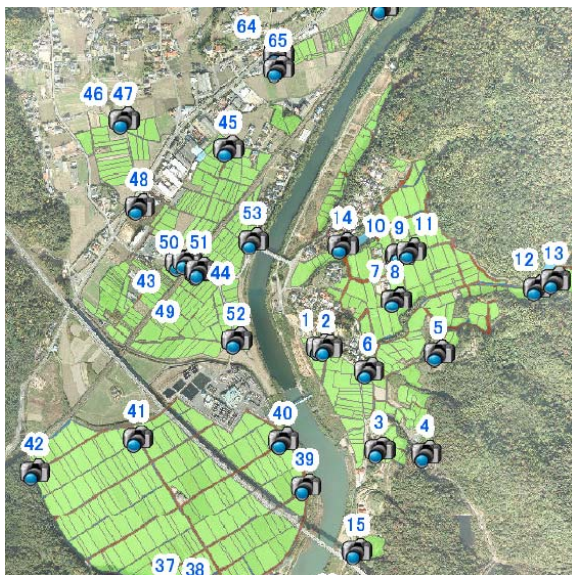
④データ整理



期待される効果

- ①現地での携帯品は基本的にタブレットのみとなり、従来のエリア図面、拡大図面、デジカメ等を持ち歩く必要がなくなる。
- ②着色した地番図とタブレットGPSによる現在地が連動するため、農地・施設位置の確定や調査の対象、非対象の判別が容易になる。
- ③地番図の属性情報を直接更新するため、転記ミス、転記漏れがなくなる。
- ④写真GPS機能により、撮影位置図の作成が容易になる。

(撮影位置図)



(写真整理帳)

市町名	〇〇市	確認者(所属氏名)	
組織名	〇〇地域環境保全会	現地確認者(所属氏名)	県土連 〇〇
確認日	2015/〇/〇〇~〇〇		
写 真			
写真1		写真2	

今後の活用予定

- ①現地調査後の確認内容、写真の整理は手動で行っている部分があるので、今後はEXCEL VBAによる自動化を進めていきたい。
- ②タブレットの背景のオルソ画像は、事前に事務所内のWIFIでキャッシュに取り込むことにより現地での表示が可能になるが、広範囲になると上記方法では時間がかかるので、データ通信契約も視野に入れながら、作業効率を改善していきたい。

■お問い合わせ先

山口県土地改良事業団体連合会 事業部管理課

083-933-0034

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(細川、久貝)

03-6744-2201(直通)